

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラスわらび駅東口教室		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 25日		～ 2024年 11月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2024年 11月 5日		～ 2024年 11月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないように工夫を行っている	トレーニング・イベントがマンネリ化しないよう職員相互で立案に当たり、利用者に合わせて活動内容を精査しながら取り組んでいる	振り返りをもとに活動内容を改善していきながら、更なるプログラムの質の向上を図る
2	職員間でのコミュニケーションを密にし、共通理解のもとチームで連携して支援にあたっている	常に意見を言い合える雰囲気作りに留意しながら支援の内容や役割分担について確認し、職員全員が共通理解のもと利用者の支援を行っている	情報共有や意見交換の機会を大切にしたり、定期的な研修の機会等を通して職員の質の向上に努めていく
3	SNS等を活用することにより、活動内容を保護者や外部に向けて発信している	必要連絡事項の一齐配信を行ったり、その日の活動内容をタイムリーに伝えることが出来るようSNS等を活用しながら取り組んでいる	SNS等の広報活動を積極的に行いながら、活動内容の周知に努めていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の設備について、バリアフリー化がなされていない	建物の構造上、入室する際の手段が階段を使用するのみになっており、改善が難しい状況にある	階段の上り下りの際には手すりを活用する等、注意喚起をしていきながら転倒リスクを減らしていく
2	活動スペースについて狭さを感じることもある	体幹トレーニング等で室内で体を動かす活動内容の際に、十分なスペースがなくて狭さを感じる	利用人数や活動内容に応じて、机や椅子を相談室に移動する等の工夫を行っていく
3	地域交流の機会がなかなかない	ハッピーテラスが行っている活動内容の周知や地域とのつながりを深めていく必要がある	地域で行われている行事に参加したり、夏祭りだけでなく地域の方を招待するイベントを増やしていく